

事業報告

2006年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告

1 主催事業

①公開講座

2006年度の公開講座は、6月18日（日）の「学ぶって楽しい」及び8月10日（本）の「体験・大学の化学実験」を皮切りに、主に9月、10月の土・日を開催日とした講座が実施され、11月29日の「対人援助の法と倫理」をもって全17講座が終了した。

今年度は、新たに農学部で高校生向けの実験講座が開講され、藤枝の附属地域フィールド科学教育研究センターも会場となった。各講座受講者の応募状況は、以下の表のとおりである。沼津会場の「茶文化と日本人の暮らし」や人文学部主催の静岡会場での「駿河の歴史と文化の創造」など、教養講座的なものに参加者が多かった傾向がみられた。

生涯学習教育研究センターで主催した実質6講座のほかは、各学部主導に基づく公開講座として計画、実施されたものだが、学部がきわめて片寄って実施されているという現状である。今後は、運営委員の方々による各学部教員への意識の高まりを積極的にすすめていただき、地域への社会貢献をもっと進めていきたいと考えている。

■生涯学習教育研究センター主催

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
体験・大学の化学実験 「光る物質をつくってみよう」	紫外線で光る物質の合成	8/10	理学部助教授・近藤 満	中学生以上	2,000	静岡キャンパス	30	17
	化学反応で光る物質の合成	8/11	理学部助手・山中正道					
じかに触れよう日本の美	掛け軸の取り扱いと鑑賞	9/2	情報学部教授・高松良幸	一般市民	3,000	浜松キャンパス	30	29
	古陶磁のみかたと取り扱い	9/9	生涯学習教育研究センター教授・柴垣勇夫					
	仏像鑑賞を通して	9/16	教育学部助教授・大宮康男					
	平野美術館の見学	9/23	高松良幸・柴垣勇夫					
茶文化と日本人の暮らし	茶文化の起こり	9/9	人文学部教授・埋田重夫	一般市民	2,000	沼津市立図書館	50	48
	茶産業の発展	9/10	人文学部教授・山本義彦					
	茶の効能	9/23	農学部教授・杉山公男					
	現代の暮らしと茶の湯の精神文化	9/30	茶道研究家・吉野亜湖					
太極拳と健康管理	太極拳を通して健康管理に努めましょう	9/9・9/23・9/30	共通教育非常勤講師・周佩芳	一般市民	1,500	静岡キャンパス	40	22
学ぶって楽しい!	駿府城をもっとよく知ろう	6/18	教育学部教授・小和田哲	知的障害がある方	400	静岡キャンパス	70	51
	隣の国に行ってみよう!～ごきげんな韓国済州島～		名鉄観光サービス(株)静岡支店営業係長・並川欣史					
	宇宙の不思議	10/29	前静岡県総合教育センター教授・寺尾 理	知的障害がある方	400	静岡キャンパス	70	37
	サッカーは最高		教育学部教授・難波邦雄					
対人援助の倫理と法	高齢者の心理臨床における倫理と法	11/8	人文学部助教授・星野和実	一般市民	2,000	静岡市産学交流センター B-nest	50	29
	精神障害者の倫理と法	11/15	人文学部教授・磯田雄二郎					
	ケア場面での〈紛争〉と倫理	11/22	大学院法務研究科教授・藤本 亮					
	ケアのゆくえ:倫理と法を越えて	11/29	人文学部教授・浜渦辰二					

■人文学部主催

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
駿河の歴史と文化の創造	駿河の古墳文化	9/30	人文学部助教授・滝沢 誠	一般市民	1,500	静岡市アイセル 21	50	57
	駿河の中世文化	10/7	人文学部教授・湯之上 隆					
	駿河の近世文化	10/14	人文学部助教授・小二田誠二					
	静岡の地場産業	10/21	人文学部教授・山本義彦					
	静岡の文化と地域おこし	10/28	人文学部教授・日詰一幸					

■教育学部主催

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
初心者脱出!!卓球教室	生涯スポーツとしての卓球の楽しみ方を学ぶ	10/21・22	教育学部助教授・古田和人 NPO法人卓球交流会・山田耕司	一般市民	2,500	静岡キャンパス	40	32
女性テニス教室	テニスは生涯スポーツに最適!	10/3・10・14・17・21・24・31	教育学部教授・中野美恵子ほか	一般市民(女性)	8,000	静岡キャンパス	30	16
東アジアの新しい茶文化と音楽	東アジアの茶文化や音楽について学び、茶歌創造・再創造の可能性を考える	10/21	教育学部教授・大槻 寛 教育学部教授・柳沢信芳 教育学部助教授・小西潤子ほか	一般市民	1,000	静岡キャンパス	56	33

■教育実践総合センター主催

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
多文化を背景とする子どもたちを教室に迎えて	教育現場の事例に即し言葉と教育の本質を探る	8/18	教育学部助教授・宇都宮裕章 教育学部講師・矢崎満夫	小・中・高教職員	1,100	静岡市産学交流センター B-nest	20	10
ワークショップ形式による新しい理科実験・実習講座	充実した学びと科学的思考力の育成につながる観察・実験を行う	8/21	教育学部教授・丹沢哲郎 教育学部教授・碓 寛	県内小学校教員	1,600	三島本町タワー	20	10
		8/22	教育学部助教授・延原尊美 教育学部教授・久田隆基					
小中学校等における特別支援教育の実現に向けた基礎講座	特別支援教育の施策などを学び、共通理解を図る	9/30	教育学部教授・渡辺明広	教育関係者	2,700	静岡キャンパス	30	20
		10/14	教育学部教授・大塚 玲					
		11/25	教育学部助教授・香野 毅					

■農学部主催

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
共生バイオ実験講座Ⅰ	植物の遺伝子を見る	8/26	農学部助教授・本橋令子 農学部教授・瀧川雄一 農学部助教授・切岩祥和	高校生	2,000	静岡キャンパス	24	10
共生バイオ実験講座Ⅱ	土壌の働きを知ろう	10/7	農学部助教授・南雲俊之 農学部助手・鮫島玲子 農学部藤枝フィールド助手・八幡昌紀	高校生	2,000	静大藤枝フィールドセンター	25	14

■国際交流センター主催

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
日本語教育を考える	日本語の教え方を初級・中級にわたって日ごろの実践例を紹介する	10/7・14・11/4・10・25	国際交流センター教授・熊井浩子 国際交流センター助教授・袴田麻里 国際交流センター教授・原澤伊都夫 国際交流センター教授・中里弘子	日本語教育関係者	7,400	静岡市産学交流センター B-nest	30	31

②しずだい飛ぶ教室

■しずだい飛ぶ教室in春野

「しずだい飛ぶ教室」とは、静岡大学の教員が県内の遠隔市町村へ出向き、出前講演会を行う事業。2006年度は、浜松市春野町で、合併後の中山間地域での町づくりへの提言を主なテーマとして実施した。春野町ではちょうど「春野の教育振興市民会議」が立ち上がる時期で、浜松市への合併後に懸念される過疎地域での教育問題や、まちの活性化を真剣に考える傾向が地域で高まりつつあった。この影響からか、PTA、春野高同窓会、教員、地元春野の教育振興市民会議の方々など70名にもものぼる参加者を得て、活発な意見交換が行われた。

- ・日時：2006年11月19日（日） 13:30～15:40
- ・会場：県立春野高校立志館ホール
- ・内容：
 - ①「過疎地域における生徒の特別枠について」講師：石井 潔（教育学部長）
 - ②「合併後の中山間地における地域づくり」講師：日誌一幸（人文学部教授）

③公開シンポジウム

■公開シンポジウム「大学と博物館を結ぶ⑨～進化する博物館・美術館を知ろう～」

博物館における最近のリニューアルの動きや、中から変わりもって喜びを参加者と分かち合う博物館活動といった話題について考え、新しい博物館の動きに関心や意識を高める機会とすることを目的に実施した。静岡会場と浜松会場を結び、活発な討論が行われた。

- ・日時：2006年7月8日（土） 13:00～16:00
- ・会場：（静岡会場）静岡キャンパス共通教育A棟301室、（浜松会場）静岡大学情報学部会議室
※静岡・浜松間をテレビ会議で結び実施
- ・内容：
 - ①「東京国立博物館の教育普及“Bridge Over Troubled Water”」報告：吉田知加（東京国立博物館研究員）
 - ②「登呂博物館の建替事業」報告：長谷川秀厚（静岡市立登呂博物館副主幹）
 - ③「豊橋市美術博物館整備事業について」報告：後藤清司（豊橋市美術博物館副館長）
 - ④「大阪市立近代美術館建設の経緯について」報告：橋爪節也（大阪市立近代美術館建設準備室主任学芸員）
 - ⑤「静岡県立美術館の『タッチ・ツアー』」報告：南 美幸（静岡県立美術館主任学芸員）
- ・コーディネーター：柴垣勇夫（生涯学習教育研究センター教授）、高松良幸（情報学部教授）
- ・参加費：無料

■公開シンポジウム「災害発生時における教師による子どもの心のケアのあり方」

静岡県にとって、東海地震発生時における対策は、地域が抱える重要な課題の一つであり、災害が発生した際、被災した子どもたちのケアには保護者とともに教師が重要な役割を担う。そこで、新潟県中越地域の先生を招き、災害発生時に備えた体制づくりや子どもたちのケアのあり方について考えることを目的に実施した。現場の教師を中心に約150名の参加があった。

- ・日時：2006年7月29日（土） 10:30～16:30
- ・会場：静岡商工会議所5階ホール
- ・内容：
 - ①「管理職の立場から」報告：福島正（新潟県小千谷市立小千谷中学校校長）
 - ②「担任教諭の立場から」報告：斉藤博文（東小千谷中学校教諭）
 - ③「養護教諭の立場から」報告：永井真弓（吉谷小学校養護教諭）
- ・コメンテーター：石田純夫（教育学部附属静岡中学校副校長）、小林朋子（教育学部附属教育実践総合センター助教授）
- ・対象：小・中・高・養護学校教員、教育・医療・福祉関係者、子どもの心のケアに興味のある市民の方

- ・参加費：無料
- ・共催：静岡大学教育学部附属教育実践総合センター
- ・後援：新潟県教育委員会、小千谷市教育委員会、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会

■公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑨」

大学と地域をeラーニングを活用して結び、各々がネット配付の掲示板システムを利用し討論しあう、新たな学習ネットワークの構築方法を検討する目的で実施した。学生、教職員等80名の参加のもと、質疑も多く交わされた。

- ・日時：2007年1月23日（火） 14:30～16:00
- ・会場：静岡大学共通教育A棟301教室
- ・内容：
 - ①「生涯学習のツールとしてのeコミュニティ」報告：河井草仁（東海大学文学部教授）
 - ②「生涯学習に必要な学力とは？～Web掲示板利用のグループ学習授業の成果から～」報告：益川弘如（教育学部講師）
 - ③「『まちのお宝さがしプロジェクト』がめざすもの」報告：村上 敏（まちのお宝探しプロジェクト）
- ・コーディネーター：菅野文彦（教育学部教授）
- ・参加費：無料

④公開セミナー

■公開セミナー「見れば禁煙したくなる～海外で放送されているテレビCMの魅力と効果～」

5月31日の世界禁煙デーに合わせ、普段日本で見ることができない海外のCMを見ながら、禁煙についてさまざまな角度から考えた。約20名の参加者があった。

- ・日時：2006年5月27日（土） 10:30～12:00
- ・会場：静岡市産学交流センター B-nest 6階プレゼンテーションルーム
- ・講師：赤田信一（教育学部助教授）
- ・参加費：無料

■公開セミナー「子どもの性行動の特徴について～適切な性教育の姿を求めるために～」

12月1日の世界エイズデーを控え、保健関係者対象に、健康教育論の立場から家庭での性教育の必要性を考える公開セミナーを行った。養護教諭や保健所関係者、学生など約30名の参加者を得た。

- ・日時：2006年11月25日（土） 10:30～12:00
- ・会場：静岡市産学交流センター B-nest 6階プレゼンテーションルーム
- ・講師：赤田信一（教育学部助教授）
- ・参加費：無料

■公開セミナー「スポーツで子どもが伸びる環境の作り方～親や指導者がスグに取り組むべきコト・やってはいけないコト～」

子どもがスポーツを通して明るくたくましく成長し、選手としても大きくステップアップするために、親は何をすべきか、何をすべきでないのか。スポーツに熱心に取り組む子どもを、周囲の大人はどのようにサポートすべきかについて、スポーツ科学を専門とする静岡大学の教員が解説した。NPOのスポーツ団体の指導者や教育関係者、学生など、50名の参加があった。

- ・日時：2006年12月2日（土） 10:00～12:00
- ・会場：静岡市産学交流センター B-nest 大会議室
- ・内容：
 - ①「やる気を持続させるために」講師：村越 眞（教育学部教授）

②「子どもをさらに伸ばすコツ」講師：吉田和人（教育学部助教授）

- ・受講料：無料
- ・対象：一般市民、スポーツ指導者など
- ・後援：静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県体育協会、静岡新聞社・静岡放送

2 共催事業

■地域連携セミナー「静岡県近代新聞講座～パソコンで新聞入力！明治の時代にタイムスリップ～」

NPO法人エイジングブライต์倶楽部との共催により、「静岡県近代新聞講座～パソコンで新聞入力！明治の時代にタイムスリップ」と題した地域連携セミナーを開催した。当日は30名ほどの参加があり、第2部では実際に記事検索を試みた。

- ・日時：2006年8月5日（土） 10:00～15:00
- ・会場：静岡市産学交流センター B-nest 7階大会議室、IT研修室
- ・内容：
 - ①「静岡県近代新聞講座」講師：川上 努（静岡県近代史研究会会員）
 - ②「静岡県近代新聞テキスト化事業紹介とWEBサイト見学」
- ・受講料：無料
- ・主催：NPO法人エイジングブライต์倶楽部、静岡大学生涯学習教育研究センター
- ・後援：静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、静岡県生涯学習振興財団

■文化講演会「静岡に見る焼き物の歴史～土器は私たちの過去から未来を見つめている」

有度国際セミナー・NPO法人エイジングブライต์倶楽部との共催により、「静岡に見る焼き物の歴史」と題した文化講演会を開催した。焼き物の進化の原点である縄文・弥生時代の土器を知り、その進化の過程を考えた。

- ・日時：2006年8月10日（木）・17日（木）・23日（水） 13:00～15:00
- ・会場：静岡市産学交流センター B-nest 7階大会議室
- ・内容：
 - ①8/10「静岡の縄文・弥生土器」講師：篠原和大（人文学部助教授）
 - ②8/17「古代・中世の静岡の焼き物」講師：柴垣勇夫（生涯学習教育研究センター教授）
 - ③8/23「志都呂焼き歴史」講師：柴垣勇夫（生涯学習教育研究センター教授）
- ・受講料：1,500円（全3回分）
- ・主催：有度国際セミナー、NPO法人エイジングブライต์倶楽部
- ・共催：静岡大学生涯学習教育研究センター
- ・後援：静岡県教育委員会、静岡県生涯学習振興財団

■静岡県公民館連絡協議会共催事業「生涯学習指導者研修事業」

近年公民館を取り巻く環境は大きく変わり、地域社会の中での期待される役割の中味も変わりつつある。地域課題を探り、住民との連携をはかって活動する各地の公民館に学びながら、公民館と地域住民との連携のあり方を検討する目的で開催した。地域づくりに取り組む公民館でのリーダー養成や生涯学習関連施設との連携、NPO法人と連携などが熱く語られ、特に富士川っ子が育つ会の事業に社会教育実習として参加した学生の発表は、地域の人々との交流を深めるものとなった。公民館職員・教育委員会関係者、学生等80名の参加があった。

- ・日時：2007年1月31日（水） 10:30～16:00
- ・会場：庵原郡富士川町中央公民館
- ・研修テーマ：「地域づくり・人づくりの拠点としての公民館」
- ・内容：
 - ①基調講演「これからの公民館に求められること～地域づくりの拠点を目指して～」原 義彦（秋田大学教育文

化学部助教授)

②事例報告

- 「地域の家庭教育支援の拠点としての公民館」報告：鈴木妙子（富士市立今泉公民館長）
- 「自然・野外体験に基づく子どもの育成支援」報告：永井宏憲（袋井市立袋井北公民館長）
- 「富士川っ子が育つ会の活動事例」報告：柚木恵美子（富士川っ子が育つ会会長）
- 「地域に根ざした公民館活動」報告：永田りょう（島田市初音公民館長）

③パネルディスカッション

- 司会：柴垣勇夫（生涯学習教育研究センター長）
- コメンテーター：渋谷かさね（教育学部助教授）
- 報告者：事例報告者、静岡大学教育学部生涯学習専攻学生

・主催：静岡県公民館連絡協議会、静岡大学生涯学習教育研究センター

3 企画協力事業

■富士川町・静岡大学特別公開講座「アフリカの生活世界」

富士川町文化事業振興会主催で、当センターが企画協力した大学公開講座。この講座は、静岡大学のほか、静岡県立大学、常葉大学の3大学がそれぞれテーマの設定や講師の選定を担当して実施されるもので、静岡大学では「アフリカの生活世界」をテーマに企画した。各回20名の方の参加があった。

・日時：2006年10月5日・12日・19日・26日・11月9日（木）

・内容：

- ①10/5「森の暮らし1 狩猟採集社会の分配と平等」
- ②10/12「森の暮らし2 焼畑と混作」
- ③10/19「乾燥地の暮らし 牧畜の世界」
- ④10/26「都会の暮らし 貨幣経済と交換」
- ⑤11/9「サバンナの音楽 太鼓に込めたメッセージ」

・講師：小松かおり（人文学部助教授）

・主催：富士川町文化事業振興会

・共催：富士川町・富士川町教育委員会

・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

4 市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放し、正規学生と一緒に受講できるようにしたもので、2005年度から実施している。

2006年度の受講者数は154名で、平均年齢は59.9歳となっている。また、開講科目数および受講科目数は以下の表のとおりである。

	共通教育	人文学部	教育学部	理学部	農学部	工学部	情報学部	計
開講科目数	127	87	21	118	13	7	10	383
受講科目数	63	47	7	9	2	1	3	132